



2022年度 このまちを知ろう！

『明親校区子どもフェスタウォークラリー』 報告

2023年1月22日実施 兵庫駅南公園子どもフェスタ実行委員会



津の道大壁画
兵庫津の道の周辺史跡、名所、ゆかりの人たちを紹介した壁画

切戸南住宅
津波避難場所は湊川公園だが、津波緊急避難場所として建物の高所も有効。切戸南住宅、松原第2住宅やイオン神戸南が該当する。



- 松原公園**
- 防災資機材庫収納
 - ブルーシート
 - ロープ 車いす
 - リアカー 台車
 - 簡易担架用パイプ 毛布
 - 一輪車 脚立
 - ハンドマイク
 - ヘルメット
 - 消火器 布製バケツ

明親校区子どもフェスタウォークラリーについて

子どもフェスタフレンズの中学生が企画したのは、明親地域福祉センターを出発し、松原公園、切戸南住宅、大輪田橋、薬仙寺と進むルート。これには、戦災・震災の遺構があり、また日常の防災や安全に関わる施設や設備を知るのにピッタリのコース。今後起こりうる災害に対応できるキッカケづくりになると考えました。

お楽しみはチェックポイントを巡りながらのミッションビンゴ。中央の空白は、参加者が防災に繋がると思うものを自分で選びました（参加者の選択例：緊急時飲料提供ベンダー、大輪田水門、災害時帰宅支援ステーション等）。最後は参加賞とビンゴの景品を手にとった一日でした。



参加者の声

- 防災資材倉庫や100t水槽の場所、福祉避難所を初めて知りました。●公衆電話初体験。子どもたちには新鮮だったようです。
- 消火器がたくさんある。地域の歴史を感じました。●中学生のお兄さんお姉さんや地域の方々のおかげでとても楽しく参加できました。
- 知らなかった地元を再発見できました。知ることは大いに防災に繋がると思います。
- 年長の娘には、難しい言葉もあり今はピンときていないかも知れませんが、何か心に残ったものがあればと思います。大人の私にとってもたくさん発見があり有意義な時間になりました。
- これをモデルにして他の地域でもこのような取り組みが広がっていけばいいなと思いました。

オレンジ色が明親校区 赤枠がウォーク範囲

大輪田橋

空襲で周りが火の海になり、安全を求めて運河に飛び込み橋の下に避難した人々。しかし運河に浮いていた油に火が燃え移り、運河自体も火に包まれ多くの方が亡くなる。今でも橋の下は黒く焦げた跡が残る。また1995年阪神淡路大震災の揺れで倒れた柱は、撤去せずにモニュメントとして残る。

戦争と震災を経験したこの橋は私たちに歴史を示す生き証人。銅で表現されるカタツムリは綺麗な水と空気を求める未来への願い。

清盛塚

1286年造立と言われ、以前は現在より南西にあった。1923年に墳墓ではなく供養塔と判明。隣には神戸出身の彫刻家・柳原義達氏による平清盛像や琵琶の名手であった平経正にちなんだ琵琶塚が建っている。

真光寺

1945年3月の空襲で全山消失し1962年に再建。戦没者の墓がある。戦争の空襲に遭い、寺に逃げ込んだ人たちの燃える防空頭巾を亀の池で消火したという記録がある。

薬仙寺

後白河法皇が幽閉された萱の御所跡。空襲により本堂は全焼。犠牲者の遺体が山積み安置された。毎年3月17日は空襲犠牲者合同慰霊祭が行われる。

大輪田橋の被災物や戦災で焦げた石材と震災による裂け目の石材を組み合わせたモニュメントがあり、戦争と震災の記憶を伝える。